

2018年(平成30年)5月23日(水曜日)



南足柄市塚原のユートピア農園で、ヒマワリが早くも満開を迎えている＝写真＝。

手がけているのは、収穫期や見頃をずらして価値を高める農業に取り組む古屋富雄さん(65)。1000平方メートルの農園で、約5000本のヒマワリが次々と開花している。

「夏りん蔵^{そら}」という品種で、

早くも満開

背丈は1～1.5メートル。花の直径も10～15センチと小ぶりだが、この時期のヒマワリは珍しいため、観賞や装飾用として人気があるという。

2本100円。今月下旬まで販売した後は、すき込んで肥料にし、野菜を栽培するという。問い合わせは古屋さん(090・7849・9200)